

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		家庭教育事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6147	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	家庭教育だよりまごころ作成委員会要綱				
	小項目	2	家庭・地域・学校の連携による教育力の向上							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		家庭教育の啓発と家庭・地域の教育力の向上のため、幼児・小学生・中学生をもつ家庭と地域住民を対象として、家庭教育だより「まごころ」を年3回発行し配布することにより、家庭教育の重要性に気づかせることができる。また、親が親として育ち力をつけるため、「親の学習」講座を実施する。								
目的 ※何のために		家庭教育の啓発と家庭・地域の教育力の向上のため								
対象 ※誰・何を対象に		幼児・小学生・中学生を持つ家庭と地域住民								
手段 ※どのように		家庭教育だより「まごころ」の発行・配布								
成果 ※何を求めるか		家庭教育の重要性に気付かせ、また、親が親として育ち力をつける手助けを行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 幼小中教職員等 )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	家庭教育事業【生涯学習スポーツ振興課】	94,932
本事業の 主な業務		・「まごころ」編集委員会の開催							・	
		・「まごころ」の配布(年3回)							・	
		・家庭教育講座(小学校就学時健診時)の開催							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催
事業費	予算(現額)	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
	決算額	94,217	94,889	93,309	94,945	94,932	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	94,217	94,889	93,309	94,945	94,932	95,000
人件費	従事職員数(人)	0.41	0.41	0.41	0.41	0.39	0.48
	人件費相当試算※	3,189,390	3,190,620	3,223,010	3,335,760	3,027,147	3,903,047
総事業費試算		3,283,607	3,285,509	3,316,319	3,430,705	3,122,079	3,998,047

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	まごころ年間発行回数	目標値	回	3	3	3	3	3	3	
		実績値		3	3	3	2	3	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	まごころ年間発行部数	目標値	部	19500	19500	19500	19500	19500	19500	
		実績値		19500	19500	19500	13000	18500	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H 2 7 年度以降は回覧形式に変更しているため、市内の回覧部数を参考に目標値を設定 / H 2 7 以降は 1 回 6 5 0 0 部発行							
	実績値の算出式									
活動指標 3	「親の学習」の開催回数	目標値	回	28	29	29	29	29	29	
		実績値		21	21	21	0	10	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市内全 2 9 の小中学校での「親の学習」開催を目標に設定している。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	「親の学習」参加者数	目標値	人	1400	1400	1400	1400	1400	1400	
		実績値		1138	1144	1081	0	483	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		小学校新入学児童全員が「親の学習」に参加することを目標とする。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	家庭教育日より「まごころ」は、年3回発行でき、目標を達成できた。また、発行部数については、児童生徒が保有するタブレット端末に「まごころ」PDFデータを配信したことで、印刷部数を削減し、その費用を読者用の景品に充てるなど工夫することができた。 「親の学習」講座については、コロナ禍における学校運営の都合により、実施できなかった小学校もあったが、過半数(10校)を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	・「親の学習」講座については、コロナ禍における学校運営の都合により、実施できなかった小学校もあったことから、参加者数は483人(35%程度)と少なく、目標を達成できなかった。
			評価者 生涯学習係長 荏塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	家庭教育日より「まごころ」は、編集会議の事前調整を行い、年3回効率的に実施している。また、児童生徒が使用しているタブレット端末にデータ配信することで、効率的に啓発を行っている。 「親の学習」講座については、新1年生の親が一堂に会する就学時健診時に、人権教育講座とともに「親の学習」講座を行い、毎年、効率的に実施しているところである。
			評価者

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・「親の学習」の実施に当たっては、検温・消毒、マスク着用、アクリル板の設置など、感染症予防対策を行う。
達成状況及び その効果	感染症予防対策として、検温・消毒、マスク着用に加え、講座形式（通常はグループワーク）に変更し講座を実施した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	家庭教育事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6147
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>家庭教育だより「まごころ」については、印刷・配布に加え、年3回、小・中学生が使用するタブレット端末に電子データを配信することで、各家庭において「まごころ」を読むことが可能となり、効果的な対応ができた。また、「親の学習」講座については、引き続き、家庭教育アドバイザーを活用しグループワークによる充実した講座を実施できるよう努めるとともに、小学校と調整し全校で継続的に実施できるよう努める。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・中学生の保護者を対象とした「親の学習」機会が少ないことから、効果的な啓発方法を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

